申告書の記載方法

＜　前年度以前に申告している場合　＞

◎　住所、氏名及び取得価額（前年前に取得したもの（イ））は、昨年までの申告に基づいて印字しています。
◎　印字している内容に変更がある場合は、抹消線を引き、余白に正しい内容を記載してください。

〈４事業種目〉
事業の内容を具体的に記載してください。（例：印刷業）事業種目が複数ある場合には主たる事業種目を記載してください。
また、法人の場合、資本金又は出資

〈５事業開始年月〉
個人の方は事業を開始した年月を、法人の方は設立年月を記載してください。

〈８～14　短縮耐用年数の承認等〉
各項目の有無等について該当する方を〇で囲んでください。
※償却資産においては特別償却及び圧縮記帳は認められておりません。

〈15 資産の所在地〉
筑前町内にある事業所等の資産所在地を記載してください。
資産所在地が複数ある場合は、各々の資産所在地を記載し、主たる資産所在地に該当する番号を〇で囲んでください。

〈取得価額〉

前年前に取得したもの（イ）
昨年までの申告に基づき、取得価額を印字しています。

前年中に減少したもの（ロ）
（イ）のうち、前年中に減少した資産の取得価額を記載してください。

前年中に取得したもの（ハ）
今回新たに申告していただく資産の取得価額を記載してください。申告もれや、移動により受け入れた資産についても、（イ）ではなく（ハ）に記載してください。

〈18 備考〉
次のア～カのような事項を記載してください。なお、書ききれない場合は、別用紙（様式自由）に記載してください。
ア　住所、氏名等に異動があった場合は、異動事由（商号変更等）、異動年月日、旧住所、旧氏名等、参考になる事項
イ　合併があった場合は、合併日、合併法人名、被合併法人名等
ウ　課税標準の特例適用資産、非課税資産又は耐用年数の短縮等を適用して資産を所有されている場合は、その届出書等、添付書類の名称
エ　納税管理人を定めている場合は、その方の住所、氏名
オ　償却資産を共有されている場合は、所有者全員の住所、氏名
カ　その他、この申告に必要な事項及び償却資産の評価について参考となる事項（**例：資産の増減がない場合→増**

受付印　〇〇〇年　1月　15日　筑前町長　殿

〇〇〇年度
償却資産申告書（償却資産課税台帳）

※所有者コード　0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

第二十八号様式（提出用）

所有者
1 住所（ふりがな）（又は納税通知書送付先）：〒 838-0298　朝倉郡筑前町篠隈３７３番地　（電話 0946-42-XXXX）
2 氏名（ふりがな）（法人にあってはその名称及び代表者の名前）：筑前税務　株式会社　代表取締役　筑前太郎　押印不要

3 個人番号又は法人番号：1 2 2 3 4 4 5 5 6 7 8
4 事業種目（資本金等の額）：精密測定器製造業（900 百万円）
5 事業開始年月：平成17年　3月
6 この申告に応答する者の係及び氏名：経理課　筑前　花子（電話 0946-42-XXXX）
7 税理士等の氏名：税理士　朝倉　一郎（電話 0946-24-XXXX）

8 短縮耐用年数の承認　有・(無)
9 増加償却の届出　有・(無)
10 非課税該当資産　有・(無)
11 課税標準の特例　有・(無)
12 特別償却又は圧縮記帳　有・(無)
13 税務会計上の償却方法　(定率法)・定額法
14 青色申告　有・(無)

資産の種類	取得価額 前年前に取得したもの（イ）	前年中に減少したもの（ロ）	前年中に取得したもの（ハ）	計（(イ)-(ロ)+(ハ)）（ニ）
1 構築物	8800000	3000000	3650000	9450000
2 機械及び装置	14430767	3702206	1797450	2870361
3 船舶				
4 航空機				
5 車両及び運搬具				
6 工具、器具及び備品	4550000	500000	2035900	6085900
7 合計	27780767	7202206	2366400	4423840 0

資産の種類	評価額（ホ）	※決定価格（ヘ）	※課税標準額（ト）
1 構築物			
2 機械及び装置			
3 船舶			
4 航空機			
5 車両及び運搬具			
6 工具、器具及び備品			
7 合計			

電算処理方式により申告される方以外は記載しないでください。

15 市（区）町村内における事業所等資産の所在地：① 新町４２１番地５　② 篠隈３７３番地　③
16 借用資産（有・(無)）：貸主の名称等　筑前リース株式会社　筑前町篠隈XXX番地　朝倉リース株式会社　朝倉市XX番地　0946-24-XXXX
17 事業所用家屋の所有区分：(自己所有)・借家
18 備考（添付書類等）